

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(家庭分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-7)を参照

発行者の略称	東書	書名	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、巻頭に家族・家庭の基礎的な機能などの『家庭分野のガイダンス』が示されている。各章末の『学習のまとめ』や実習の『いつも確かめよう』が設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習例として難易度が示された『マイバッグ』『ミニトートバッグ』などが掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、巻頭には目標が提示されており、巻末にはコンクールなどを取り上げた『学んだことを発表しよう』のコーナーが設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、家族や地域の人と関わる体験などの題材が『家庭生活と地域とのかかわり』などに設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「消費者教育」について、自立した消費者に関するエシカル消費や消費者市民社会の説明などが『私たちの消費生活と環境』などに示されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域との関わりの中で共生・協働する活動例が『地域での協働を目指して』などに示されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、他者との考えの交流を図るグループワークなどの活動例が『やってみよう』『考えてみよう』で示されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各編に『小学校』『リンク』などのマークが示され、学習内容と関連する教科や内容が示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、課題を設定して、調べたことをまとめ、それをもとに発表する活動が『幼児との関わり方の工夫』などで示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化が『日本の食文化と和食の調理』など、衣・食・住などで取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実習の際に確認する写真、説明文、実習例などが『いつも確かめよう』などのコーナーで示されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、『家庭分野のガイダンス』において、小学校と中学校の学習の内容が同じページに並べて記載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の収集及びその活用を検討し、意思決定をするプロセスが『よりよい商品の選択と購入のための意思決定のプロセス』において示されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、教科書の冒頭に『教科書の構成』が示されている。また、見開き2ページに『目標』から『まとめよう』までが配置されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 包丁の持ち方や姿勢、食品の切り方など実習の技能などが、各編において『いつも確かめよう』で示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた既習事項の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、知識・技能を活用する例が『弁当作りに挑戦しよう』などで示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学びの視点がキャラクターの吹き出しなどで示されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活の中から課題を設定し解決する力を養う学習過程について、課題の設定、解決策の検討、実践の具体例が『生活の課題と実践』において提示されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 全5編『私たちの食生活』『私たちの衣生活』『私たちの住生活』『私たちの消費生活と環境』『私たちの成長と家族・地域』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪技術・家庭(家庭分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-7)を参照

発行者の略称	教図	書名	New技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『日常の1食分の調理』など、課題解決学習の流れが『問題を発見する』など6つのまとまりで示されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、知識や技能を活用した課題解決の流れが『問題の発見』『課題を設定する』などで示されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、家庭分野の目標が、巻頭の『私の成長と家庭分野の学習』に示されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、子育てをめぐる問題や子育てを支援する仕組みが、写真や絵などで『子どものすこやかな成長のために』に取り上げられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「消費者教育」について、自立した消費者、持続可能な社会の実現について『消費生活が社会に与える影響を考えよう』などで取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、中学生として地域の人々と協力・協働する活動例が『地域の人々と協力・協働しよう』で示されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う活動や、発表する活動の例が『考えてみよう』『話し合ってみよう』『調べてみよう』などのコーナーで示されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、小学校家庭科や他教科と関連する内容が『リンク』マークで示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、課題解決学習の方法や、計画、各グループでのディベート、評価などの活動が『学びを生かそう』で示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化が『地域の食文化を知ろう』など衣・食・住の各章で、取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実習例が掲載されている。また、調理例のページの下部に食物アレルギーの対応が提示されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、『ガイダンス』において小学校との関連が示されるとともに、関連する内容について『リンク』マークが示されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、商品を選択し購入する意思決定のプロセスの題材が『買い物の意思決定のプロセス』において設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、『この教科書の構成』で『見つめる』『学ぶ』『ふり返る』の3ステップで構成されていることが記載され、活動例などが具体的に示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各編において、『やってみよう』『学びを生かそう』章末のまとめ』が基礎・基本から、発展的な題材へと順に記載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、自分の生活の中から問題を発見する活動例が『生活の課題と実践』に示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、各項目の冒頭に、日常生活と学習内容をつなげるコーナーが『見つめる』として示されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活の中から課題を設定し解決する力を養う学習過程について、各章において、課題解決のプロセスの記載とともに、課題解決に取り組む活動例が『学びを生かそう』などで設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(家庭分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-7)を参照

発行者の略称	開隆堂	書名	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、ポイントとなる語句は太字で示されている。また、『しょうが焼き』など、基礎的な調理手順や調理理論が示されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、住空間についてグループで話し合う活動例が『住まいの空間』などに示されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、家庭生活と社会の仕事の関連について『家庭を支える社会』などで示されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、地域に住む多様な人びととの交流の様子が、写真などで『多様な人びとが暮らす地域』に示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「消費者教育」について、持続可能な社会の実現に向けた自立した消費者に関する取組が、『消費行動が社会に与える影響』で、示されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域ボランティアに参加するなどの活動例が、『家庭生活と地域での活動』において、示されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、ガイダンスで『主体的・対話的で深い学びをしよう』として学びの流れが示され、関連する活動が設けられている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各編の冒頭に『小学校での学び』が示されており、ページの右上に『他教科』『リンク』のマークが示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、絵本の読み聞かせやインタビュー、話し合い、レポートのまとめ、発表などの活動例が『幼児とのかかわり』などで示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化が『地域の食文化』など衣・食・住の各内容において、取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、調理実習などの理論や根拠が写真、説明文などが『調理方法Q&amp;A』に示されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連性が『家庭分野のガイダンス』で示され、各章において関連するものについては、『小学校での学び』として示されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『商品購入に必要な情報と活用の仕方』などが『情報を活用した上手な購入』で示されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各項目の冒頭右上に『学習の目標』、見開き左ページ上部に各章の名称が示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各編において、学習のポイントや情報を吹き出しで伝えるキャラクターが『幼児の発達と衣生活、食生活』などにおいて示されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、家族の気持ちや立場を考えるロールプレイングなどの活動例が示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、ガイダンスで見方・考え方の視点が示され、各節の終末に見方・考え方を生かした活動『生活にいかそう』が設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活の中から課題を設定し解決する力を養う学習過程について、生活や学習の中で課題を見つけ、解決に向けて実践していく題材が『生活の課題と実践』において、記載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』と『生活の課題と実践』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《技術・家庭(家庭分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、巻頭に家族・家庭の基礎的な機能などの『家庭分野のガイダンス』が示されている。各章末に知識の習得に関する『学習のまとめ』や、実習について技能の習得に関する『いつも確かめよう』などが設定されている。
教図	「知識・技能」の習得について、『「日常の1食分の調理」について、考え、工夫する』などで、課題解決学習の流れが説明文と図によって実習例が示されている。また、調理実習では、材料・調理手順など調理のポイントなどが示されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、ポイントとなる語句は太字で示されている。『しょうが焼き』の実習例において『しょうがを入れるとどうなるの?』『なぜ、フライパンを熱してから油を入れるの?』などのQ&Aにより、基礎的な調理手順や調理理論が示されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ガイダンスにおいて『問題解決する筋道と見方・考え方』として課題解決の流れが具体的な例とともに示されており、難易度が示された実習例として『マイバッグ』『ミニトートバッグ』などが掲載されている。
教図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、知識や技能を活用した課題解決の流れが『「家族・家庭や地域との関わり」の課題と実践』のなかの『問題の発見』『課題を設定する』などで示されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、部屋の空間について話し合ったり、バリアフリーについて考えたり、家族の部屋の使い方を工夫したりする活動例が『住まいの空間』など示されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、巻頭で目標が提示されており、巻末にはコンクールを取り上げた『学んだことを発表しよう』のコーナーで、中学生が活動する写真などが取り上げられている。
教図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、家庭分野の目標が巻頭の『私の成長と家庭分野の学習』に示されている。また、『センパイに聞こう!』では複数の分野で活躍する人からのメッセージが写真と文で掲載されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『家庭生活を支える社会の仕事』や『家庭生活を支える社会の仕組み』に関する記述や図などが『家庭を支える社会』において示されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、幼児や高齢者、外国の人、障がいのある人についての記載、防災訓練、ごみの収集活動、幼児や高齢者との関わりなどの題材が『家庭生活と地域とのかかわり』などに示されている。
教図	[思いやる力]の「共生」について、児童憲章や子どもの権利条約、児童虐待の防止、ユニセフの取組などが、写真や絵などで『子どものすこやかな成長のために』に取り上げられている。
開隆堂	[思いやる力]の「共生」について、乳幼児や高齢者、障がいのある人や外国の人、LGBTなど、地域に住む人々との交流やピクトグラムなどが写真などで『多様な人びとが暮らす地域』に示されている。
⑤ 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「消費者教育」について、自立した消費者に関する持続可能な社会、エシカル消費、消費者市民社会の説明などが『私たちの消費生活と環境』などに示されている。
教図	[たくましく生きる力]の「消費者教育」について、自立した消費者に関するエシカル消費、フェアトレードなどのトピック、持続可能な社会の実現などが『消費生活が社会に与える影響を考えよう』『環境に及ぼす影響を考えて行動しよう』などで取り上げられている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「消費者教育」について、消費者としての視点と自覚を持ち、持続可能な社会の実現に向け、自立した消費者に関する取組が『消費行動が社会に与える影響』『消費行動が環境に与える影響』で示されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の小学生たちとの合同総合防災訓練など、中学生としての地域との関わり方や地域でできることを考える活動例が『地域での協働を目指して』などに示されている。
教図	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、中学生として地域の人々と協力・協働する例が写真や絵などで『地域の人々と協力・協働しよう』に記載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域ボランティアに参加する中学生についての記載や、『先輩からのエール』として、関連する職業に就いている方とのQ&Aが、『家庭生活と地域での活動』において示されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、他者との考えの交流を図るためのグループワークなどの活動例が、『やってみよう』『考えてみよう』『調べてみよう』『話し合ってみよう』などで示されている。
教図	主体的・対話的で深い学びについて、話し合う活動や、発表する活動の例が『考えてみよう』『話し合ってみよう』『調べてみよう』などのコーナーで示されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、ガイダンスで『主体的・対話的で深い学びをしよう』として、学びの流れが示され、『私の興味・関心』『話し合ってみよう』『考えてみよう』などの活動が設けられている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、各編に『小学校』『リンク』などのマークが示され、『災害への対策』では、『他教科』として社会科、『リンク』として巻末の防災・減災手帳、『Dマーク』として保健体育科や理科など、関連する教科や内容が示されている。
教図	カリキュラム・マネジメントについて、小学校家庭科や他教科と関連する内容が『リンク』マークで示されている。『災害に備えた安全な住まい方を考えよう』では、保健体育科や社会科、理科との関連が『リンク』マークで示されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、各編の冒頭に『小学校での学び』が示されており、ページの右上に『他教科』『リンク』のマークが示されている。理科や保健体育科と関連したことを示すマークが、『体に入った栄養素のゆくえ』や『栄養素のはたらきと6つの基礎食品群』において示されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、課題を設定して、調べたことをまとめ、それをもとに発表する活動や、ふれあい体験後にお礼の手紙を書く活動などが『幼児との関わり方の工夫』などで示されている。
教図	言語能力の育成について、課題解決学習の方法、計画、グループでのディベート、評価、改善などの活動が『学びを生かそう』で示されている。
開隆堂	言語能力の育成について、絵本の読み聞かせやインタビュー、話し合い、レポートのまとめ、発表などについての活動例が『幼児とのかかわり』のふれあい体験などで示されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な日本文化が写真や地図などで『日本の食文化と和食の調理』『日本の衣文化』『日本各地の住まい』などで取り上げられている。
教図	伝統や文化に関する教育の充実について、地域の食文化や地産地消、全国各地の郷土料理、和食の調理、地域の伝統的な器など日本の伝統的な文化が『地域の食文化を知ろう』などで取り上げられている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、郷土料理や地域の食材、また各地の伝統工芸品など日本の伝統的な文化が、『地域の食文化』などで取り上げられている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、実物大の食品の掲示や、実習の際に確認する野菜の切り方などの段階ごとの写真、説明文、実習例などが、『私たちの食生活』や『いつも確かめよう』で示されている。
教図	体験活動の充実について、調理などの実習例が掲載されている。また、調理例のページの下部に小麦や卵、乳などの食物アレルギーの対応が『つくってみよう』に示されている。
開隆堂	体験活動の充実について、『ますます好きになる肉の調理』『こんなにおいしい魚の調理』などで、調理実習などの理論や根拠が写真、説明文などが『調理方法Q&A』に示されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、全体の冒頭の『家庭分野のガイダンス』において、中学校の学習内容と小学校の学習内容がページの上と下に並べて記載されている。各編の導入には『小学校家庭科の内容』が示されている。
教図	学校段階間の円滑な接続について、『ガイダンス』において小学校との関連が示されるとともに、「調理の基礎」では、小学校で学んだ『じゃがいもの調理』に関連させた実習例など『リンク』マークが示されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連性が『家庭分野のガイダンス』で示され、各章において関連するものについては、『小学校の学び』として示されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報を収集及びその活用を検討し、意思決定をするプロセスが『よりよい商品の選択と購入のための意思決定のプロセス』において5つの段階で示されている。
教図	情報活用能力の育成について、課題の設定、解決方法の検討、情報収集、比較検討、決定、消費、評価と見直しを行う題材が『買い物の意思決定のプロセス』において示されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、『情報の発信源』『商品購入に必要な情報と活用の仕方』『本当に必要な物資・サービスを購入するプロセス』が『情報を活用した上手な購入』で示されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、冒頭に『教科書の構成』が示されている。また、各節が見開き2ページとなっており、『目標』から『まとめよう』までが配置されている。
教図	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、『この教科書の構成』で『見つめる』『学ぶ』『ふり返る』の3ステップで構成されていることや、『調べてみよう』『体験してみよう』『話し合ってみよう』などの活動例が示されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各項目の冒頭右上に『学習の目標』が示されている。また、見開き左ページの上部に各章の名称がインデックスで示されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	実習時に、包丁の持ち方や姿勢、食品の切り方、作業する手元や姿勢の写真、左利きの作業例、作業のポイントなど実習の技能が、各編において文や写真、図で『いつも確かめよう』に示されている。
教図	各編において、『やってみよう』『学びを生かそう』『章末のまとめ』が基礎・基本の知識・技術の習得を図るものから発展的な題材へと順に記載されている。
開隆堂	各編において、学習のポイントや情報を吹き出しで生徒に伝えるキャラクターが、『幼児の発達と衣生活、食生活』『栄養素のはたらきと6つの基礎食品群』などで示されている。
⑯ 実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がされているか。	
東書	実践的・体験的な学習活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、知識・技能を活用する例が『弁当作りに挑戦しよう』などで示されている。
教図	実践的・体験的な学習活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、自分の生活の中から問題を発見し、知識・技能を活用する取組『生活の課題と実践』などに示されている。
開隆堂	実践的・体験的な学習活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、家族の気持ちや立場を考えるロールプレイングなど実践的・体験的な学習活動例が『中学生にとっての家族』に示されている。
⑰ 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、『加工食品の特徴』などで、学びの視点が、キャラクターの吹き出しなどで示されている。
教図	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、生徒同士の対話から日常生活と学習内容をつなげるコーナーが『見つめる』として、『家庭生活と地域の関わりを知ろう』などに示されている。
開隆堂	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、『家庭分野のガイダンス』で学びの視点が示され、各節の終末に見方・考え方を日常生活に生かす活動『生活にいかそう』が設定されている。
⑱ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
東書	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、知識・技能を活用し、課題設定、解決策の検討、実践、実践後の発表などの具体例が『生活の課題と実践』において提示されている。
教図	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、生活の中から課題を設定するプロセスが『学びを生かそう』の『課題を設定する』に記載されているとともに、課題解決に取り組む活動例が示されている。
開隆堂	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、生活や学習の中で課題を見つけ、課題解決に向けて実践していく題材が『生活の課題と実践』において、掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	全5編『私たちの食生活』『私たちの衣生活』『私たちの住生活』『私たちの消費生活と環境』『私たちの成長と家族・地域』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。
教図	全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。
開隆堂	全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』と『生活の課題と実践』で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教図	判型はA 4変型判が採用されている。
開隆堂	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教図	『ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。』と表記されている。
開隆堂	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	91ページ 三浦だいこん 95ページ けんちん汁 99ページ 容器包装を少なくする取り組みの例（九都県市）神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市 219ページ 防災訓練（横浜市） 280ページ 笑顔満点！疲労回復 スタミナ弁当（神奈川県）
教図	69ページ 『センパイに聞こう！「地域で子育てをシェアしましょう！ 地域の頼り合い支援会社」』（横浜市） 150ページ 三浦だいこん 151ページ 『かながわブランド』マーク 153ページ しらす丼 156ページ けんちん汁 191ページ 『メッセージ「お裁縫は想像の世界を広げてくれます！」』（横浜市） 260ページ 横浜市消費生活センター
開隆堂	58ページ 地域での多文化共生活動の例（横浜市）、目の不自由な人との交流（横浜市） 143ページ けんちん汁 150ページ 『先輩からのエール「食べるときにおいしくー横浜のシウマイ弁当」』 283ページ 鎌倉彫の小物入れ

② URL、二次元コード等の掲載の有無					
発行者名					
東書	有				
教図	有				
開隆堂	有				

③ 一冊ごとの重量(g)					
発行者名	冊数	重量(g)			
東書	1	606			
教図	1	633			
開隆堂	1	570			